

【ご講演者略歴】

樋口 進氏

国立病院機構 久里浜医療センター院長

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長（依存症対策全国センター長および WHO 物質使用・嗜癮行動研究研修協力センター長併任）。1979 年東北大学医学部卒業。米国立保健研究所 (NIH) 留学、国立久里浜病院(現久里浜医療センター)臨床研究部長、同病院副院長などを経て現職。ゲーム障害、ギャンブル障害などの行動嗜癮、アルコール関連問題の予防・治療・研究などを専門とする。2011 年に国内初のネット依存治療専門外来を設立。WHO 専門家諮問委員、行動嗜癮に関する WHO 会議およびフォーラム座長・共同座長、厚生労働省アルコール健康障害対策関係者会議会長、内閣官房ギャンブル等依存症対策推進関係者会議会長、国際アルコール医学生物学会 (ISBRA) 前理事長などを務める。著書に『Q&A でわかる子どものネット依存とゲーム障害』など。

川島 隆太氏

東北大学教授 同加齢医学研究所所長

1959 年、千葉県生まれ。1985 年東北大学医学部卒業、1989 年東北大学大学院医学研究科修了、スウェーデン王国カロリンスカ研究所客員研究員、東北大学加齢医学研究所助手、同講師、東北大学未来科学技術共同研究センター教授を経て 2006 年より東北大学加齢医学研究所教授。2014 年より現職。2017 年より東北大学学際重点研究センター長兼務。著書に『スマホが学力を破壊する』など、300 冊以上を出版。

阿刀田 高氏

直木賞作家、活字の学びを考える懇談会会長

早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、国立国会図書館で司書として 11 年間勤務する。図書館勤務中から執筆活動を続け、1978 年『冷蔵庫より愛をこめて』でデビュー。1979 年『来訪者』で第 32 回日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で第 81 回直木賞受賞。1995 年『新トロイア物語』で第 29 回吉川英治文学賞受賞。その他、『短編小説のレシピ』『旧約聖書を知っていますか』『漱石を知っていますか』など著書多数。2003 年紫綬褒章、2009 年旭日中綬章受章。2007 年から 2011 年まで日本ペンクラブ会長を務める。2018 年 4 月に山梨県立図書館名誉館長に就任。同年 10 月文化功労者に顕彰。文字・活字文化推進機構副会長。